

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

弁護人亀井秀雄の上告趣意について。

所論第一点は、採証違反に因る事実誤認の主張であり、また、同第二点は、量刑不当の主張であるから、刑訴四〇五条に該当しない。また記録を精査しても、同四――条を適用すべきものとは認められない。

よつて刑訴施行法三条の二、刑訴法四〇八条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年十一月一日

最高裁判所第一小法廷

裁判長裁判官	斎	藤	悠	輔
裁判官	沢	田	竹	治 郎
裁判官	真	野		毅
裁判官	岩	松	三	郎